

カニポン通信

赤泊小学校学校運営協議会 ニュースレター

2025年10月 第1号

文&編集 / 赤泊小学校
CSディレクター 岩崎 奈美

今回の新着ニュース：

- 令和7年度 第2回赤泊小学校学校運営協議会の開催
- 7/3学校地域合同防災訓練「みんなでまなぼうさい」実施



令和7年度第2回 赤泊小学校学校運営協議会 開催

9月3日(水) 赤泊小学校会議室にて、令和7年度第2回赤泊小学校学校運営協議会を右記の内容で開催いたしました。

特に今回は、去る7月3日に行われた地域合同防災訓練「みんなでまなぼうさい」についての振り返りと、来年度に向けた活動について、委員の皆様と協議を行い、来年度も継続して地域合同防災訓練「みんなでまなぼうさい」を行うことに決定しました。議事内容については以下の通りです。

令和7年9月3日(水) 令和7年度第2回赤泊小学校学校運営協議会

「みんなでまなぼうさい」来年度に向けての提案

①開催日時について

- ・大会や行事のない時期、中学生の都合のつく時間などを考慮し、総合的に判断する。
- ・今年同様の時期で問題ないが、暑さ対策が必要。
- ・令和8年7月2日(木)に開催予定。
- ・学習参観日に当てて、保護者にも一緒に参加。

③ワークショップについて

- ・協力団体代表者事前会議は、余裕を持って1か月前に行う(6月上旬頃)。
- ・消防団に放水実演、緊急車両の展示などを新たに追加(検討中)。
- ・タイムスケジュールが今回タイトになってしまった点を踏まえて、各ブースの体験内容や時間配分を見直す必要がある。
- ・マンホールトイレについては、展示と体験のコーナーを分けて行う。

④主催、運営について

- ・今年同様に、学校運営協議会の主催で行う。
- ・スタッフ(進行係、誘導係)のビブス着用。
- ・学校運営協議会メンバーにスタッフ(担当係)として参加してもらう。

⑥その他

- ・今回保育園も初めて避難訓練に参加、実際にやってみると園職員だけで園児を赤泊小へ避難させるのが大変であったとのことで、来年度は近隣の北雪酒造さんにも防災訓練の参加協力をお願いをしてみたらどうか。
- ・地域住民の参加が今回少なかったので、積極的に地域に声掛けをしたり、地域住民でもある保護者の方々にも参加いただけるようお願いをする。



②内容について

- ・来年度も南佐渡中生徒(赤泊在住)に参加協力をお願いしたい。
- ・日本赤十字社は来年度もお願いする方向で検討。
- ・2~3月の学校運営協議会で最終的に決定する。

CSディレクター岩崎の



「カニポン通信」第1号、この度発行の運びとなりました！遅くなりまして本当にスミマセン！！

本年度より、新たに赤泊小学校学校運営協議会としてスタートし、合同防災訓練も無事終わり、もう10月となりました。

今回は、カニポンgalleryというコーナーを急きょ作りまして、8月に行われた「赤泊港まつり」の海上大相撲の一枚を載せてみました。土屋校長先生の行司、身長190センチの行司が海へ落とされる姿、豪快でなかなか見応えありました(笑)

さて、これからは実りの秋、美味しいものをいっぱい食べて、秋を満喫しましょう！

7/3 学校地域合同防災訓練 「みんなでまなぼうさい」実施

昨年度に引き続き、今年度も学校運営協議会が主催の「みんなでまなぼうさい」を7月3日に実施いたしました。

今回は新たに赤泊保育園、また今年度より統合となつた南佐渡中学校へ通う赤泊在住の生徒20名にも参加いただきました。

また今年度はワークショップの新たな試みとして、以下の内容で実施いたしました。

- ①昨年度体育館下に設置された「マンホールトイレ」の実演とモニターを使った説明。（佐渡市上下水道課）
 - ②A E D 体験。（南佐渡消防署）
 - ③日本赤十字社新潟県支部 谷田様による防災講話。
 - ④縦割りの3グループに分けることで、児童・生徒と地域住民が一緒に各ブースを体験できるように配慮。

今回防災講話をいただいた日本赤十字社新潟県支部 谷田様のお話の中で、様々な近年の自然災害においては 「減災」 がいかに重要であるということ。自助（自分で自分を守る）、共助（地域で助け合う）、公助（行政の救助・援助）により、各々が最大限できることを行い災害による影響を減らす、ということを教えて頂きました。人間は自然の力には到底敵いません。一人は無理でも一人一人、そして地域みんなで連携して出来ることを行い、日々災害に備えることが大切であると感じました。

今年も来年も再来年も・・・この合同防災訓練を学校地域連携として継続していきたいと思います。



楽しく"もしも"に備えて 赤泊子どもらが防災訓練



小中学生や地域住民らが災害時の対応を学んだ防災訓練=佐渡市赤泊

※2025.7.9 新潟日報掲載